

教科 (科目)	公民 (現代社会)	単位数	2単位	1学年	全コース
使用教科書	実教出版『最新現代社会 新訂版』				
副教材等	なし				

1. 学習目標

社会的事象が相互に関連しあっていることに気付かせながら、社会的事象に対する関心を持って、多角的な角度から考える態度を育てる。

2. 指導の重点

進学・就職等希望進路が多岐に渡っていることから

- ①基本的な社会的事項の習得を重視し、特に教科書の太字のキーワードの確実な習得を目指す。
- ②社会事象を的確に理解することにより、自分の考え方を確立させることを目指す。
- ③それらを発展させて、新聞記事を読み、自分の考えを的確に他者に表現できることを目指す。

3. 学習計画

月	単元名	教材・指導方法	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	第1部 わたしたちの生きる社会	教科書・プリントの解説、課題の提出、確認テストの実施。	今日のような問題について多面的に検討する。	3	時事問題課題
5	第2部1 第1～3章 青年期と自己の形成 1学期中間考査	教科書・プリントの解説、課題の提出、確認テストの実施。	青年期の特色と生き方に関わる思想を理解する。	6	中間考査 ノート点検
6	第2部2 第1～2章 憲法・人権・平和主義	教科書・プリントの解説、課題の提出、確認テストの実施。	憲法の原理と人権、平和主義の特色を理解する。	7	時事問題課題
7	第2部2 第3章1～4 日本の政治機構 1学期期末考査	教科書・プリントの解説、課題の提出、確認テストの実施。	国会・内閣・裁判所・地方自治について理解を深める。	6	期末考査 ノート点検
9	第2部2 第3章5～6 国民の政治参加	教科書・プリントの解説、課題の提出、確認テストの実施。	政党・世論と国民の政治参加について理解する。	7	時事問題課題
10	第2部3 第1章1～7 市場のしくみと現代企業 2学期中間考査	教科書・プリントの解説、課題の提出、確認テストの実施。	日本経済のあゆみと諸課題について理解を深める。	8	中間考査 ノート点検
11	第2部3 第1章8～11 金融・財政の役割	教科書・プリントの解説、課題の提出、確認テストの実施。	労働・社会保障等の課題について理解を深める。	7	時事問題課題
12	第2部3 第2章1～3 日本経済の特質 2学期期末考査	教科書・プリントの解説、課題の提出、確認テストの実施。	国連などの国際政治のしくみについて理解を深める。	6	期末考査 ノート点検
1	第2部3 第2章4～11 国民の経済生活	教科書・プリントの解説、課題の提出、確認テストの実施。	日本経済における諸問題を多面的に理解する。	5	時事問題課題
2	第2部4 第1章 国際政治の動向 学年末考査	教科書・プリントの解説、課題の提出、確認テストの実施。	国際政治経済の現状と解決すべき課題を理解する。	7	学年末考査 ノート点検
3	第2部4 第2章 国際経済の動向	教科書・プリントの解説、課題の提出、確認テストの実施。	今まで扱った問題を「共生」の観点からとらえる。	2	時事問題課題

計 64 (55分授業)

4. 課題・提出物等

- ・学習内容に沿った時事問題の課題を適宜行い、評価に加える。
- ・定期考査の前後にノート点検を行い、評価に加える。
- ・長期休業中の課題については、別途指示する。

5. 評価基準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

関	関心・意欲・態度	現代の社会的事象への関心を深め、進んで理解しようとしている。
思	思考・判断・表現	現代の社会的事象を通じて、自分の考えをまとめたり深めたりしている。
技	技能	資料、地図、新聞記事、統計等を適切に扱う技能を身に付ける。
知	知識・理解	現代の社会的事象を理解し、それを自分の知識として活用できる。

以上の観点を踏まえ

- 授業の取組（授業態度・意欲、作業への参加状況）
- 長期休業中の課題や授業ファイル等の提出物の内容
- 時事問題課題（適宜）
- 定期考査100点満点（年間5回）などから、総合的に判断します。

6. 担当者から一言

新聞で報道される内容や身近な地域の問題に関心をもっていると、教科書の内容に興味をもって学んでいくことができます。授業においては、時事問題の課題を適宜取り入れ、社会への視点を養っていきます。現代社会の学習を通じて、社会を担う主権者としての自覚を深めていくことを期待しています。担当 今井尚文